

# 鳥取北ロータリークラブ Rotary

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2024 ▶ 2025

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日 12:30~13:30

◆ 会長……水野 治郎 ◆ 副会長……………田村 博信

◆ 幹事……田中 英剛 ◆ 会計……………松本 啓介

◆ SAA……森下 泰年 ◆ 広報・プログラム委員長…米田由起枝

■ 創立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail [kitarc@infosakyu.ne.jp](mailto:kitarc@infosakyu.ne.jp) Tel.24-3536 Fax.29-6741



HP: <https://kitarc.jp/>

国際ロータリーの  
テーマ

ロータリーの  
マジック

本日の例会	2025年2月4日(火)	第3053回
◆ 君が代・奉仕の理想	◆ 卓話	
◆ 献立 米山ミール	公益社団法人 鳥取県観光連盟	
◆ 委員会事項	専務理事 田中規靖 氏	
◆ 誕生日御祝	※例会終了後、定例理事会「梨花の間」 2/11休会	

次回の例会	2025年2月18日(火)	四つのテスト 第3054回
◆ ロータリーソング	◆ ロータリー学生表彰	
我等の生業	※2/25 創立記念夜間例会	
◆ 献立	※2/28(金)東部5クラブ合同例会	
100万ドルミール	18:30 ~ ホテルニューオータニ鳥取	

## 先週の例会

2025年1月28日(火)

### 会長挨拶

例年のこととは言え、新年の新たなる心構えも纏まらぬまま、一月最終例会を迎えました。会員の皆さんに於かれましては、今年一年のスタートは如何なものだったでしょうか。各々悲喜こもごもとは想像に難くありませんが、我が鳥取北RCにとって心豊かな一年になればと願っております。

世の中に目を転ずれば通常国会も始まり、我々が石破総理が少数与党の悲哀の中、「楽しい日本」のスローガンを掲げ国民の共感を得るべく言葉を選ばれながら国会答弁を繰り広げておられます。しかしな

がら今の日本、地方の現状を不本意ながら憂うものとして、そのスローガンに少なからずの違和感を禁じ得ません。「地方創生2・0」「令和の日本列島改造」を標榜されるのであれば、国家のリーダーとしてより力強いメッセージが欲しい、と切に願います。併せて、衆目に晒されることを楽しむぐらいのゆとりを持って、少しばかりの無理をしてでも笑顔を携えることを忘れないで頂きたい。笑顔無くして、人の心の扉は開かない。「先ずは一步を踏み出そう。It's showtime!!」

### 幹事報告

#### 1 到着文書

- 1) 榊原ガバナー事務所より  
コーディネーターニュース2月号(web)
- 2) 国際ロータリーより公共イメージニュース  
「ロータリー公共イメージに力を注ぐ」(web)
- 3) 公益財団法人 公益事業支援協会より進呈  
「小規模公益法人500ガイドブック」

#### 2 例会変更・メイクアップ情報

ありません

#### 3 その他連絡事項

- ・先週幹事報告しました「合同IM」のチラシをBOXへ配布

- ・回覧 小規模公益法人ガイドブック
- ・終了後、役員会 1階喫茶室

### 委員会報告

#### ◎出席率報告

1月28日 会員44名中 出席31名 出席率70.45%

#### ◎会員増強委員会寺本光孝委員長より

今年度、「行動計画推進リーダー」を拝命しています。岩崎PGリーダーのもと、3年間がワンスパンで主にweb会議をしています。数回しましたが課題もあります。次回は2/6です。

#### ◎入会記念日御祝

田中和夫さん(21年) 中島規夫さん(8年)

## スマイル報告

(本日20,000円 累計 462,830円 前回 442,830円)

水野治郎さん 世の中も普段の日常に戻りつつある今日この頃。通常国会も始まりましたが、本気で「楽しい日本」を目指して、中身の濃い論戦を繰り広げてください。

田村博信さん 本日の日本海新聞に掲載された写真を見て、身長が低くなっていることを実感。ピークより3cm以上縮んでいます。

田中英剛さん あけましておめでとうございます。今年も欠席ばかりでご迷惑かけますがよろしく願いいたします。

松本啓介さん 明日、運転免許証の更新をするについて高齢者講習を受けます。認知症の検査があるということ、大丈夫と思いますが結果は来週お知らせします。

森下泰年さん 先週経済団体の視察で福岡と大分に行ってきました。視察目的の内容、観光、食事、宿泊ともすべて予想以上の内容で大満足でしたが、帰りの新幹線が人身事故のため不通となってしまうアクシデントにみまわれました。大幅遅れでなんとか再開しかろうじて帰ってくることができましたが、旅は最後まで何が起こるかわかりませんね。

道上正規さん 小倉誠一さん、本日は鳥取北RCに来ていただきありがとうございます。また、地域創生のテーマの一つになっている「健康寿命」の卓話を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

福田 収さん 本日の日本海新聞に先週行いました職業奉仕賞授与式が紹介されています。ご覧ください。

米田由起枝さん 小倉様、本日の卓話ありがとうございます。

当日欠席1件、早退1件

※2大御祝(本日2,000円 累計92,000円 前回 90,000円)

中島規夫さん 入会記念日

## 卓話

### エビデンスが支える一人一人の健康寿命

#### ～将来の疾病予測～



鳥取県国民健康保険団体連合会  
常務理事 小倉誠一 氏

日常生活が健康上の問題で制限されることなく生活できる期間を「健康寿命」と言いますが、鳥取県は全国で男性17位、女性39位となっています。平均寿命と健康寿命に10歳程度の大きな差があり、この差を

縮めることが課題です。

健康な日常生活を脅かす要因となるがん・脳卒中・心疾患などの重篤な疾病、筋力低下による骨折、認知症等を未然に防ぐことで皆様が長く健康な生活を送れるよう、国保連合会は鳥取大学、自治体、県内民間企業と共同して「健康・医療データ等共同分析会議」を立ち上げ、ビッグデータを活用した健康づくりに取り組んでいます。

データを分析することで、同じ市町村内でも日常生活圏域によって健康課題が異なることや、鳥取県特有の対策が必要であることが分かり、ポイントを絞った効果的な対策に繋げることができます。

例えば、鳥取市内では特に北部において要介護になる年齢が他地域と比べて若い傾向にあり、地域によって脳血管疾患や認知症、関節疾患など要介護に至る疾病の傾向も異なるため、地域の課題に応じた対策を講じる必要があることが分かっています。

また、鳥取県全体では人工透析や心疾患などの重篤な疾病の患者の1/3以上が社保から国保に移行して間もなく発症しているという結果も出ており、地域と職域が連携した全世代に対する予防・健康づくりが避けられないところです。

現在は、今までの分析成果を積み重ね、スマートフォン用の健康アプリ「とっとり健康プラス」を展開しています。当アプリでは、疾病の罹患者と非罹患者の医療・薬剤・健診等のデータを過去に遡って追跡し、ロジスティック回帰分析という手法を用いて何が疾病に大きな影響を与え得るのかを分析した計算式により、将来の疾病発症リスクを数値化して住民の皆さんの行動を良い方向に変えていく取組を進めています。

さらに、AIを活用した将来予測にも取り組んでおり、今までよりも膨大なデータを学習させ、何を改善すれば最も疾病発症リスクを下げるができるのかを示すなど、生活習慣の改善に繋がるプログラムを今年リリースします。

ビッグデータの分析により積み重ねたエビデンスを地域や住民に還元し、予防・健康づくりのきっかけや道標を提供することで、「健康づくりが地域文化」となることを目指してこれからも住民の皆様と歩んでいきます。

(担当 道上正規)